



活動期間

2017年5月～(年2回ほど活動)

構成人数

愛媛県内の  
中学生5名・高校生10名・大人20名  
(大学生含む)

SDGsテーマ



## 推薦メッセージ

地元愛媛県で、長年、地域と関わる様々な活動を行っている団体です。大都市と違い、なかなかSDGsに関する活動や国際理解教育に触れる機会の少ない中高生への啓発活動は地味ながらも評価できると思っています。今回、さらに海外研修を考えているとのことで、より素晴らしい学びの場を、学生に提供できるのではないかと期待し、推薦いたします。

愛媛県立新居浜南高等学校 教諭 越智 由佳

# 活動内容

毎年2回程度、その時に合わせた企画を実施してきました。  
近年のものは以下のとおりです。

**平成31年 「子どもの夢絵画展」@イオンモール新居浜**  
南米の日系の子どもたちの絵画と愛媛県西条市の小学生・新居浜市の中学生の将来の夢を描いた絵画を展示しました。) また、日系ブラジル人対象の日本語学校で海外協力隊員として働いた愛媛県出身の方の講演会を実施しました。同時に、新居浜高専の生徒さんたちによる環境に関するワークショップを開催しました。

**令和元年 「世界一大きな学校」@土居町ユウホール**  
世界の教育事情について、小学生から社会人まで、幅広い参加者ととともに知るイベントを開催しました。

**「地球1個分の暮らしー持続可能な社会を考えよう」@土居町ユウホール**

地元の海岸の清掃活動を通じて、海の環境について考えるイベントを開催しました。(共催) JICA 四国、土居高SDGs推進委員会

**令和2年 「ボルネオの森から地球環境を考える」@西条市国際交流センター・オンライン**

私たちの日常生活に欠かせなくなったパーム油の問題を、実際にボルネオで環境保護活動をしている方をお呼びして、ワークショップ形式で学びました。

(共催) 四条市国際交流教会、土居高SDGs推進委員会

## 「瀬戸内の海の漂着物調査」@上島町 弓削商船高等専門学校

上島町の海岸・海中の海洋プラスチックを収集し、データを集めました。

## 令和4年 ゆたかなミライを考える@上島町

中高生が主体となって企画した環境を考えるイベント。上島全体を教材に、海洋プラスチックの問題や食品ロスについて地域の人や、県内の留学生とともに考えました。

SDGs達成を目標に、環境について考えたり、教育に考えたりできるようなイベントを実施しています。近年は、高校生が発案しておこなう企画が主になっています。地域の人気が気軽に参加できる企画になるよう留意しています。来年度は、愛媛県四国中央市には、日本でも有数の製紙会社があり、そこでは、熱帯雨林の木材を使って紙製品を生産していることや、以前ボルネオに関する企画をして人脈があることから、実際にボルネオ島を訪ね、森林保全活動やヒアリングなどを行いたいと思っています。

(共催) 弓削高校企業部、弓削中学校、弓削商船高等専門学校、新居浜南高校具ローカル論

# 01. 活動をはじめたきっかけ

## 自分たちの経験を地域に還元したい そこから活動をスタートした団体です

もともとは、JICA四国の教師海外研修に参加した先生や協力隊のOBたちが、自分たちの経験を地域に還元しようとして活動を始めた団体です。

その後、その先生たちにつながる愛媛県内の中学生や高校生がイベントに参加するようになり、一緒に活動するようになりました。

現在では、高校を卒業した大学生もたくさん在籍しています。

近年は、高校生が地元の人たちと一緒に活動できるイベントを自発的に企画することが増え、大人がサポートする形となってきています。

## 02. 活動から学んだこと・感じたこと

「世界のことを知ってもらいたい」  
とってはじめて活動が、  
自分の住んでいる地域など  
身近なことに目を向けるきっかけに。

最初は、世界のことを知ってもらいたいと思って活動をはじめました。

この活動を通じて、世界に目を向けるきっかけにしてもらえたらと思っていました。

しかし、高校生がSDGsについて学ぶにつれて、自分の住んでいる地域にも目を向けた活動を企画できるようになりました。

身近なことでも、知ることアクションをおこすことの大切さを学ぶことができています。

また、高校生たちが何かをしたいと真剣に思えば、手を差し伸べてくれる大人たちが周りにはたくさんいることもよくわかりました。

## 03. 継続するためのこれからの工夫

まずは「自分たちの普段の生活に関連すること」から学び、行動することができるということを心掛けています。

ボルネオのイベントでは、私たちがよく食べているお菓子里にパーム油が使われていてそのパーム油のプランテーションが問題になっていることを知り、生活を見直してみようという目標にしています。

ほかには、海洋プラスチックの問題を取り上げていますが、まずは、自分の地域の海の清掃活動などを行って現状を知ることからはじめて、行動できるようになることを目標にしています。

また、正しい偏りのない専門的な知見を知るために、専門家（弓削商船高等専門学校の教授など）にも協力してもらい、参加者に正しく知ってもらうことも重要視しています。

# 活動の略歴

平成31年 「子どもの夢絵画展」@イオンモール新居浜

令和元年 「世界一大きな学校」@土居町ユ一ホール

「地球1個分の暮らしー持続可能な社会を考えよう」@土居町ユ一ホール

令和2年 「ボルネオの森から地球環境を考える」@西条市国際交流センター・オンライン

「瀬戸内の海の漂着物調査」@上島町 弓削商船高等専門学校

令和4年 ゆたかなミライを考える@上島町

